

令和 8 年度 前期学位記授与式 式辞



和歌山大学の令和 8 年度前期学位記授与式にあたり、学部を卒業し学士の学位を得られた 17 名の皆さん、大学院博士後期課程を修了し博士の学位を得られた 3 名の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんが今日、この晴れの日を迎えられたことを、列席しております理事・副学長、学部長をはじめ、教職員一同とともに、心よりお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを支え、励ましてこられたご家族、関係者の皆様にも、心からお祝いと感謝を申し上げます。

卒業生、修了生の皆さん。今日までの道のりは、決して平坦なものばかりではなかったと思います。授業や研究、卒業論文、博士論文、それぞれの課題に向き合う中で、思うように進まず、立ち止まったこともあったでしょう。また、さまざまな人との出会いや経験を通して、自分自身の考え方や将来について悩んだこともあったと思います。しかし、その一つひとつに向き合い、自ら考え、乗り越えてきた積み重ねが、今日の学位取得へとつながっています。

皆さんの努力と成長に、心から敬意を表します。



和歌山大学は、「未来を切り拓く知の舞台」を掲げています。大学で学ぶということは、単に多くの知識を身につけることではありません。知識をもとに、自ら問いを立て、考え、他者と対話し、より良い答えを探し続けることです。

皆さんは、授業や研究だけではなく、課外活動、地域との交流、ボランティア活動、教育実習、国際交流など、さまざまな経験を通して、多くの人と出会い、多様な価値観に触れてきたことでしょう。そこで培った力は、こ

これから皆さんが歩いていく人生において、大きな財産になるはずです。

今、私たちの社会は、これまでにない速さで変化しています。特に人工知能、AIをはじめとするデジタル技術は、私たちの学び方、働き方、そして社会のあり方そのものを大きく変えようとしています。これからは、知識を「持っている」ことだけでは十分ではありません。必要な情報を見極め、それをどのように使うのか。そして、何が正しいのか、何が人や社会にとって大切なのかを、自分自身で考え、判断することが、これまで以上に求められます。

AIは多くの答えを示してくれるでしょう。しかし、「何を問うべきなのか」「何を大切にすべきなのか」「どのような未来をつくりたいのか」を決めるのは、私たち人間です。私は、皆さんに、これからも「問いを持ち続ける人」であってほしいと思います。当たり前だと思われていることにも、「本当にそうだろうか」と問いかけてください。困難な問題に出会ったときも、すぐに答えを求めるのではなく、さまざまな立場から考え、他者の意見にも耳を傾けてください。そして最後は、自分自身で考え、自分自身で決断し、一步を踏み出してください。その積み重ねこそが、皆さん自身の未来を切り拓き、同時に社会の未来をつくる力になると私は信じています。

もう一つ、皆さんに大切にしていいただきたいことがあります。

それは、人とのつながりです。大学生活の中で出会った友人、先生、職員、地域の方々、そして皆さんを支えてくださったご家族とのつながりは、これからの人生において、かけがえのない財産です。社会に出れば、自分とは異なる考え方や価値観を持つ人々と出会います。そのとき、自分の考えだけを押し通すのではなく、相手の立場を理解しようとする姿勢を忘れないでください。

人を尊重すること。人の話に耳を傾けること。そして、人を思いやること。この3つを守ることで自分を大きく成長させてくれることでしょう。

科学や技術がどれほど進歩しても、人と人との信頼が社会の基本であることは変わりません。豊かな人間性と深い倫理観を持ち、人とのつながりを大切にできる人であってください。そして、自分自身の心と身体も大切にしてください。

和歌山大学は、「学びと Well-being の調和」を大切にしてきました。人生は長い道のりです。常に全力で走り続けることだけが大切なものではありません。ときには立ち止まり、自分自身を見つめ、心と身体を整えることも必要です。自分自身が健康であり、幸せを感じる。そして、周囲の人々の幸せにも心を配ること。その両方を大切にしながら、自分らしい人生を歩んでください。

卒業生、修了生の皆さん。

今日の卒業、修了は、一つの到達点であると同時に、新しい出発点です。これから先、思い描いたとおりに進むことばかりではないでしょう。失敗すること、遠回りすることもあると思います。しか

し、失敗や遠回りを恐れる必要はありません。人生には、後になって初めて、その経験の意味が分かることがあります。

大切なのは、挑戦することをやめないことです。

自分の可能性を信じ、夢や目標を持ち続けてください。そして、小さくても構いません。一步ずつ前へ進んでください。和歌山大学で培った知識と経験、そしてここで出会った人々とのつながりは、必ず皆さんを支えてくれるはずです。

そして、皆さんがどこにいても、和歌山大学は皆さんの母校です。どうか時には大学を訪れ、皆さんの成長した姿を私たちにを見せてください。そして将来は、次の世代を支え、地域や社会、そして世界の未来をともにつくる存在となっていきたいと思います。「未来を切り拓く知の舞台」で学んだ一人ひとりが、それぞれの場所で自らの未来を切り拓き、そして人々の幸せにつながる新しい価値を生み出していく。それが、私たち和歌山大学教職員の大きな願いです。

皆さんのこれからの人生が、希望に満ち、健康で、実り豊かなものとなることを心から願っています。卒業生、修了生の皆さんの新たな門出に、心からの祝福を送り、式辞といたします。

本日は、誠にありがとうございます。

令和8年9月25日

和歌山大学第18代学長 本山 貢

